

令和4年7月13日 話題事項

令和4年7月7日 資料提供済

2023年4月、和歌山大学に 『社会インフォマティクス学環』が誕生！

和歌山大学は、2023年4月に、経済学部、システム工学部、観光学部の3つの学部とデータ・インテリジェンス教育研究部門が連携した文理融合型の教育課程として『社会インフォマティクス学環』を以下のとおり設置します。

この学環は、大学設置基準第42条の3の2に規定されている学部等連係課程実施基本組織（※）として、文部科学省から認められ、設置するものです。

この学環では、社会の多様な知識を備え、社会に存在する様々な課題や事象を情報技術で分析・把握し、それを企画・立案して実践することで、社会を変革していくことができる人材を育成します。和歌山大学の特色のある教育課程のひとつとして、また学生が社会で活躍するための成長の場として成熟していくことが期待されます。

和歌山県が誘致した総務省統計局・(独)統計センター 統計データ利活用センターと連携した教育研究も実施することとしており、和歌山県にとっても有為な人材を育成していく場となる予定です。

(※)「学部等連係課程」は、既存の学部・研究科等の教育資源を活用した分野横断的な学位プログラム。2019年8月の大学設置基準の改正で設置可能となった。
「学部等連係課程実施基本組織」は、この新しい学位プログラムを提供する、「学部」に相当する組織のこと。

【学部等連係課程実施基本組織名】 社会インフォマティクス学環

【入学定員】 30名

【取得できる学位】 学士（社会情報学） ※詳細は別紙のとおり

（参考）7月17日（日）にオープンキャンパスを、8月21日（日）に大学説明会を開催

お問い合わせ先

（和歌山大学）学務課システム工学部係（学環担当）

担当：津田 電話：073-457-8021 FAX：073-457-8043

メール：gakujun@ml.wakayama-u.ac.jp

（和歌山県）企画総務課調査調整班

担当：新田 電話：073-441-2337（内線2328）

FAX：073-422-1812

メール：nitta_h0003@pref.wakayama.lg.jp

SCOOP!!

2023年4月誕生!!

「社会インフォマティクス学環」



経済学部



システム工学部



観光学部



社会インフォマティクス学環
融合した学び






多様な知識に裏付けられた
データ活用

社会インフォマティクス学環とは？

令和元年8月に大学設置基準が改正され、学部等の組織の枠を越えた学部等連係課程の設置が可能となり、その制度を活用して和歌山大学が設置する文理融合型の教育課程が「社会インフォマティクス学環」です。

これからの社会を変革していくためには、社会の多様な知識を備え、社会に存在する様々な課題や事象を情報技術で分析・把握し、それを企画・立案して実践する力が必要です。

和歌山大学では、経済学部、システム工学部、観光学部の文理融合型の教育課程で社会をインフォマティクス(情報技術で分析・把握し変革)する力を育成します。



教育研究の4つの特色



① 和歌山大学の学部を横断した教育

経済学部・システム工学部・観光学部が密接に連携し分野横断的な知識や能力を身につける教育を実現。



② 社会活動から生まれるデータそのものを使った教育

和歌山県、総務省統計局、(独)統計センター、企業などが有する社会を反映したデータ(家計調査データ、顧客・購買・行動データ、金融取引データなど)を用いた教育を実践。



③ 自治体や企業等と連携した実践的な教育

自治体や企業等と連携し、社会における課題解決に資する実践的な教育を実施。(例:企業の活動を実体験、自治体の施策への提案など)



④ 少人数教育による充実したサポート体制

入学定員30名に対し、担当教員は15名以上と充実したサポート体制。学生と教員との距離も近く、学生個人の能力にあわせたきめ細かな教育を実現。



- 入学定員 >>> 30名
- 学 位 >>> 学士(社会情報学)

【主な就職先】

商 社IT企業製造業官公庁

コンサルティングファーム

データを利活用する部署での活躍が期待されます。

本学の経済学研究科、システム工学研究科、観光学研究科への進学も可能です。